純資産

株式の発行

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

① 株式の発行の内容を理解しよう！

② 株式の発行の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「資本金」勘定（純資産）

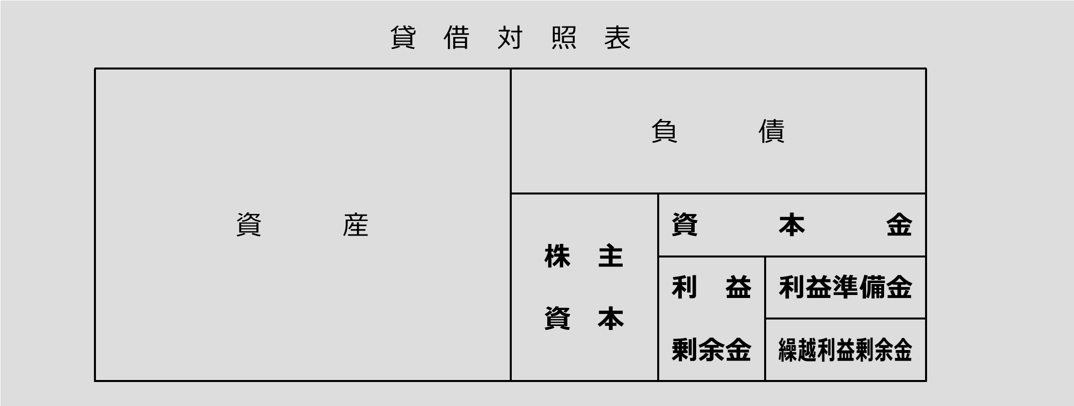
（１）純資産とは？

貸借対照表は、資産の部、負債の部、純資産の部の３つに区分します。純資産は、資産から負債を差し引いた差額です。

（２）株主資本

純資産は「株主資本」と「その他」に区分しますが、日商簿記3級では「**株主資本**」について学習します。また、株主資本は様々な科目がありますが、日商簿記3級では、**資本金**と**利益剰余金**のうち、**利益準備金**と**繰越利益剰余金**について学習します。

資本金は「元手」であり、利益剰余金は「もうけ」を意味します。



（3）株式の発行

会社の設立時とその後の新株発行時に株式を発行します。なお、新株発行は資本金が増加するため、**増資**（ぞうし）といわれます。

株式を発行した場合、原則として払込金額の全額を「**資本金**」勘定（**純資産**）で処理します。

例題 **A会社の設立にあたり、株式100株を１株あたり8,000円で発行し、払込金額は当座預金とした。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**800,000**	**資本金**	**800,000**

資本金：8,000円×100株＝800,000

例題 **A会社は増資を行うこととなり、株式10株を１株あたり10,000円で発行し、払込金額は当座預金とした。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**100,000**	**資本金**	**100,000**

資本金：10,000円×10株＝100,000

剰余金の配当

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　配当の内容を理解しよう！

②　配当の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「繰越利益剰余金」勘定（純資産）

「未払配当金」勘定（負債）

（１）剰余金の配当とは？

　会社は株主から出資してもらった元手をもとに活動します。そして、利益を獲得した場合、株主に還元します。これを、**配当**（はいとう）といいます。

　株式会社では、獲得した利益をいくら配当したり、どのように処分するかということを通常、決算日３ヶ月以内に開催される株主総会（かぶぬしそうかい）で決定します。

（２）会計処理

　株主総会では配当を決定しますが、配当の支払は後日行われますので、株主総会決議時には配当金額を「繰越利益剰余金」勘定（純資産）から「**未払配当金**」勘定（**負債**）に振り替えます。

　また、実際に配当金を支払った時は、「未払配当金」勘定（負債）を減少させます。

例題　**株主総会において利益剰余金による配当2,000円が決議された。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越利益剰余金	**2,000**	**未払配当金**	**2,000**

例題　**株主総会において決議された配当2,000円を当座預金から支払った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
未払配当金	**2,000**	**当座預金**	**2,000**

利益準備金の積立

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　利益準備金の積立の内容を理解しよう！

②　利益準備金の積立の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「繰越利益剰余金」勘定（純資産）

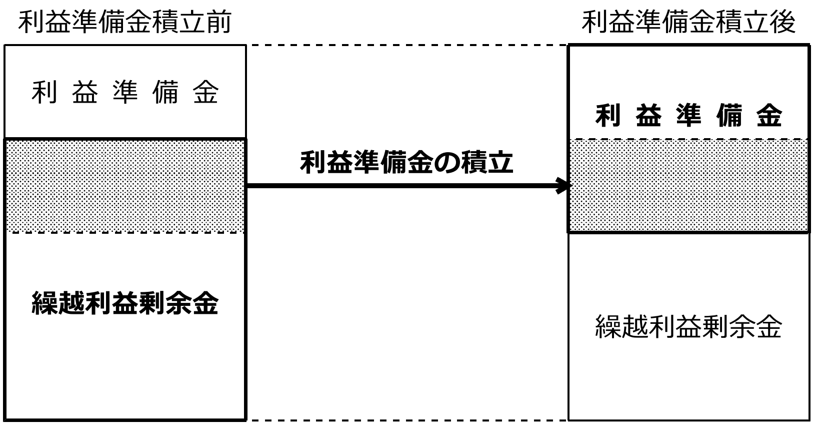
「利益準備金」勘定（純資産）

「未払配当金」勘定（負債）

利益準備金（りえきじゅんびきん）とは、会社法の規定により積み立てが強制されている利益剰余金です。

会社法では、利益剰余金（繰越利益剰余金）による配当金のたびに一定金額を利益準備金として積み立てることを規定しています。株主総会での剰余金の配当決議時に「繰越利益剰余金」勘定（純資産）から「**利益準備金**」勘定（**純資産**）に振り替えます。なお、日商簿記3級では利益準備金の積立額は問題文に与えられますので、問題文の指示に従って下さい。

なお、利益準備金を積み立てるということは、「繰越利益剰余金」勘定（純資産）から「利益準備金」勘定（純資産）に振り替えることを意味します。



例題　株主総会において利益剰余金による利益準備金の積立4,000円が決議された。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
繰 越 利 益 剰 余 金	**4,000**	**利　益　準　備　金**	**4,000**

例題　株主総会において利益剰余金による配当40,000円、利益準備金の積立4,000円が決議された。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
繰 越 利 益 剰 余 金	**44,000**	**未　払　配　当　金**	**40,000**
		利　益　準　備　金	**4,000**

純資産 問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

①　当社は取締役会の決議により、株式100株を1株の払込金額900円で発行し、全株式について払い込みを受け、払込金額を当座預金に預け入れた。

②　定時株主総会において利益剰余金による次の配当等が決議された。

利益準備金の積立：60,000円　　株主配当金：600,000円

純資産 答案用紙

問題1

	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
①				
②				

純資産　解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額
①	**当　座　預　金**	**90,000**	**資　本　金**	**90,000**
②	**繰越利益剰余金**	**660,000**	**未　払　配　当　金**	**600,000**
			利　益　準　備　金	**60,000**

問題1　**解説**

①　株主からの払込金額は、原則として「資本金」勘定（純資産）で処理します。

資本金：@900×100株＝90,000

②　株主総会決議には配当金額を「未払配当金」勘定（負債）で処理します。また、利益準備金の積立は「利益準備金」勘定（純資産）で処理します。